

# 念ずれば花ひらく

荒尾市立荒尾第三中学校便り  
令和5年3月2日(木)  
第12号 文責:森川孝巳

## 祝 卒業おめでとうございます

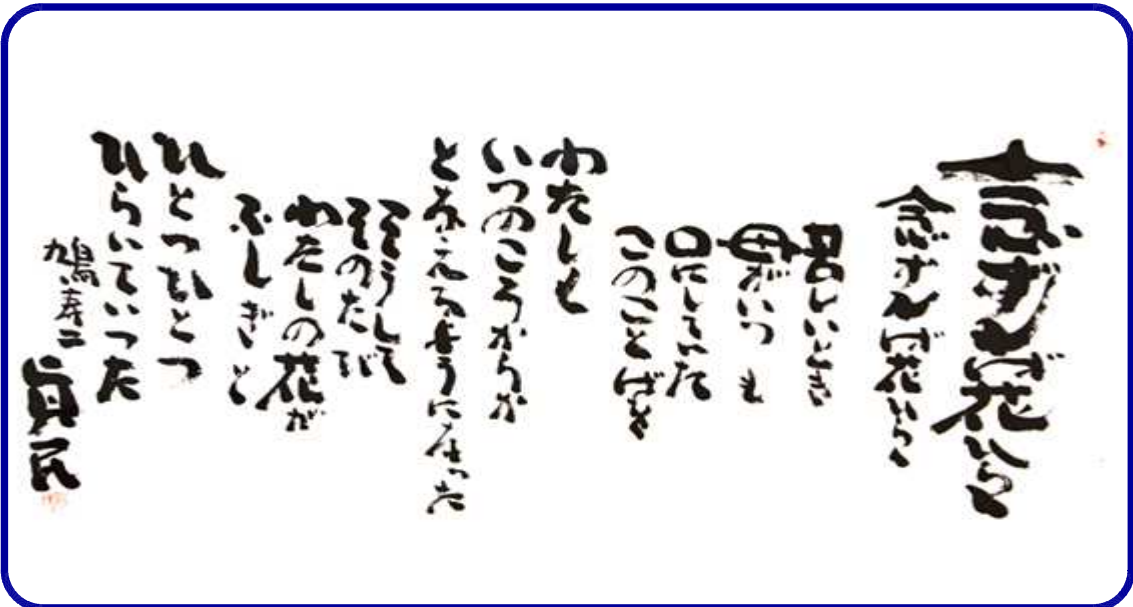
卒業生の皆さんの新たな旅立ちにあたり、お祝いの言葉を二つ贈ります。  
一つは、私が大事にしている言葉で、教育哲学者である森信三さんの言葉です。

『人間は一生のうちに逢うべき人には必ず逢える。  
しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に。』

人生は、出逢いでできていると思います。その中でも、自分の人生をも、大きく変えてくれる出逢いがあります。しかし、その出逢いに気づけるかどうかは、自分次第です。

まず、自分の道を精一杯歩き続けることです。そうすると、必ず、逢うべき人に出逢う時が来ます。どうか、一つ一つの出逢いを大切にし、その出逢いを力に変え、自分自身を成長させていける人になってください。

もう一つは、荒尾市出身の詩人、坂村真民さんの詩「念ずれば花ひらく」です。



「念ずれば花ひらく」とは、ただ念じていれば思いが叶うという意味ではありません。「こうしたい」「ああしたい」というその思いを叶えるために、寝ても覚めても思い続けるくらいの強烈な思いで一心不乱に努力し続ければ道がひらけてくるという意味です。これから先、苦しいことやうまくいかないこともたくさんあると思います。また、自分がやろうとしていることがどう見ても不可能に思えるような時もできます。他の人たちから「そんなことできるわけがない」と言われることもあります。そんな時に「念ずれば花ひらく」という言葉を思い出し、自分を信じて努力を続けるのです。多くの方が「こうしたい」と思っても、すぐできない理由を考え始めたり、「自分には無理だ、どうせ叶わない」とあきらめたりします。だから実現しないのです。

人間の思いというのは、我々の想像を超えて、凄まじいパワーを秘めています。何か新しいこと、困難なことに取り組むときほど、「絶対実現させるんだ」という強い思いを持ち続け（念じる）、一生懸命に努力し続けることが大切です。これは、世界共通の成功の法則です。自分を信じて、これからも夢や目標に向かって粘り強く努力し続け、一つ一つ目標を達成しながら自分らしい自分だけの花を咲かせていってください。「夢叶うまで挑戦」です！

卒業生の今後の活躍を心から祈念します・・・